

<同時資料提供先> 島根県政記者会

令和元年 7 月 2 9 日

新技術を使った橋梁等の点検効率化！！ ～「点検支援技術活用講習会」を行います～

道路等の定期点検要領（技術的助言）が平成31年2月に改訂され、新技術の活用による点検方法の効率化が図られるようになりました。

このたび、定期点検業務の中で新技術活用の際の留意点等について理解してもらうことを目的に、地方自治体等の職員を対象とした「点検支援技術活用講習会」を開催しますのでお知らせします。なお、本取り組みは島根県道路メンテナンス会議による技術支援の一つとして開催します。

○日 時：令和元年8月5日（月）13：30～16：00

※小雨決行（警報発令時等は中止する場合があります）

○場 所：座学 出雲合同庁舎 502会議室

実演 ^{あいかわ}併川高架橋（国道9号出雲BP）

※詳細は「別紙-1」のとおり

○参加者：県内自治体職員、中国地方整備局職員、点検コンサルタント（約50名）

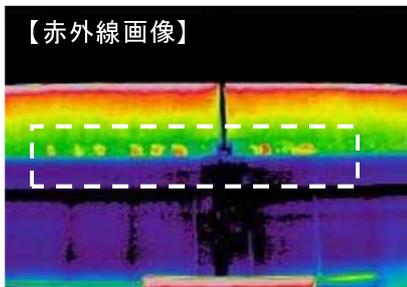
○内 容：座学「定期点検における点検支援業務の活用について」

実演 新技術を活用した点検作業実演

※詳細は「別紙-2」のとおり

※取材について

- ・点検講習会は全て報道機関へ公開します。
- ・講習の妨げにならないようにご協力をお願いします。
- ・現地での実演の際には、ヘルメットを準備願います。
- ・会議内容についてのお問い合わせにつきましては、下記<担当>までご連絡いただきますようお願いいたします。



【赤外線画像】



打音点検範囲



（新技術事例）異常箇所を可視化し点検を効率化

（今回実演箇所）^{あいかわ}併川高架橋

<問合せ先> 国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所

統括保全対策官 山本 俊彦（やまもと としひこ）

<担当> 建設専門官 板持 光雄（いたもち みつお）

<広報担当> 計画課長 板谷 行順（いただに ゆきより）

TEL:0852) 26-2131（代表）

URL:<http://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/>

<場所（位置図）>

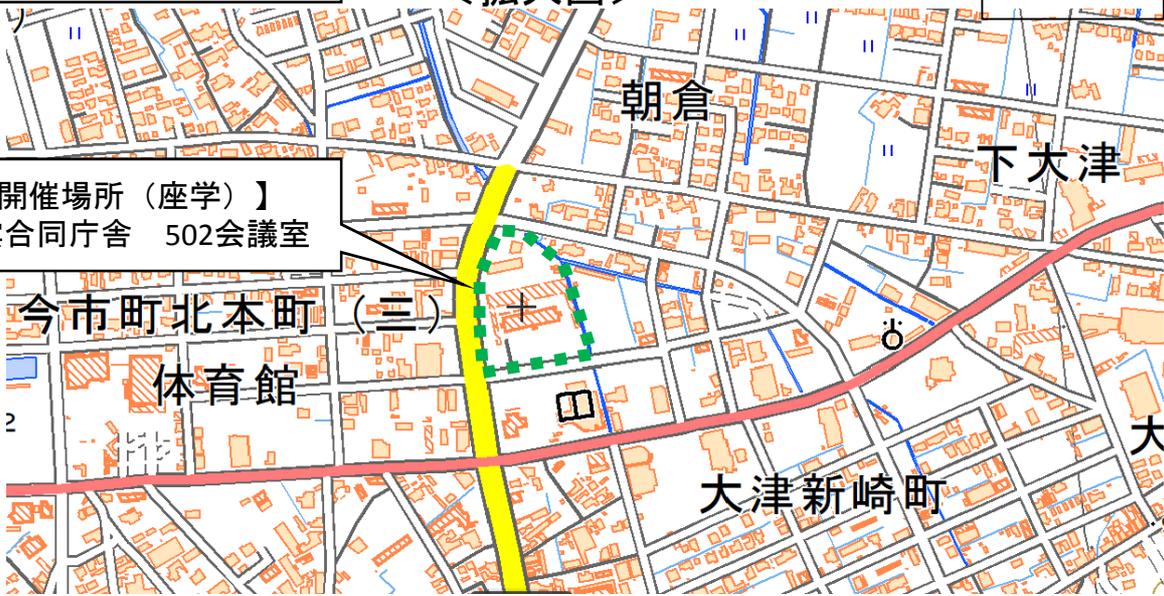
別紙－1



<拡大図>

座学

【開催場所（座学）】
出雲合同庁舎 502会議室



実演

斐川町併川



【開催場所（実演）】
国道9号併川高架橋

<実施内容（講習会タイムスケジュール）>

令和元年 8 月 5 日(月)

<点検支援技術活用講習会／国道 9 号出雲BP 併川高架橋>

- 13 : 30 集合(出雲合同庁舎 502 会議室)
※講習会場は「別紙-1」のとおり
- 13 : 30～座学：「新技術利用のガイドライン(案)」に基づく活用の流れ
新技術(非破壊検査技術)の概要 等
- 14 : 50～休憩
- 15 : 00～「国道 9 号出雲BP 併川高架橋」へ移動
※「赤外線調査トータルサポートシステム」システム」
による点検作業実演
- 15 : 50～質疑応答
- 16 : 00 終了予定